

基本的人権について

質問3 人権は、すべての人が尊重されて幸せに生きるために保障されている権利です。あなたの暮らしの中で、身近に感じている人権課題はどれですか。あなたの考えに近いものを選んでください。(3つ以内)

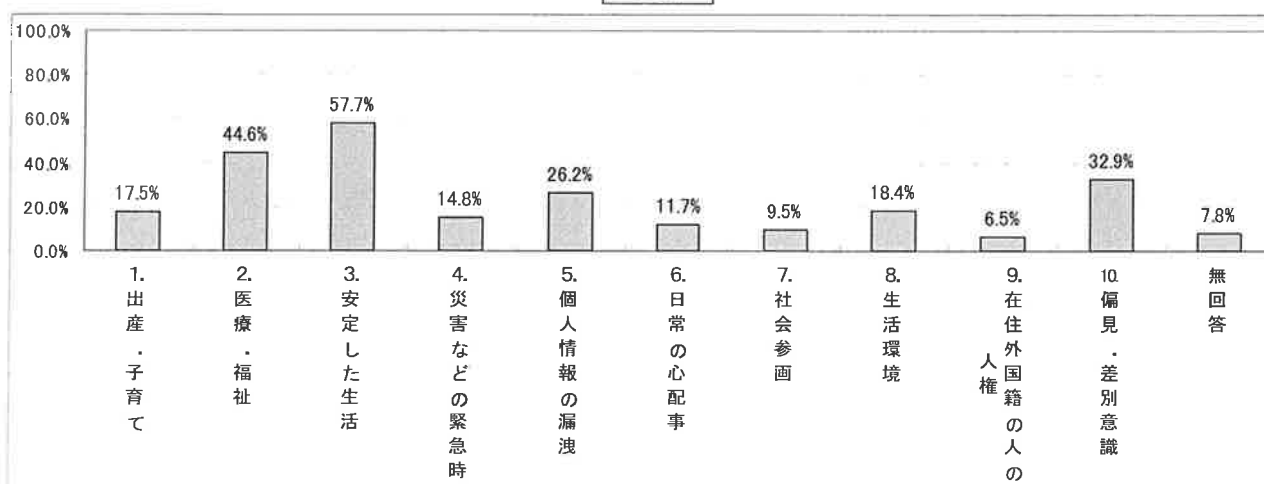
- 1 出産一時金・子育て支援・育児休業制度などがあるが不十分であり、子どもを生み、育てることに不安がある。
- 2 医療や福祉制度が不十分であり、けがや病気で長期の治療や休養が必要になると不安がある。
- 3 人として生きるための仕事や年金などでの収入によって、生活における必要な衣服や食料を得て、安全な環境に住むなど、これからも安定した生活ができるか不安である。
- 4 災害などの緊急時において、防災無線の整備、避難誘導の方法や避難場所の確保、近隣住民の協力体制が不十分であり、不安がある。
- 5 戸籍、カードの暗証番号など個人情報の漏洩（ろうえい）や悪用、また、自分や家族のプライバシーが侵害されないか不安がある。
- 6 日常生活での心配事や困りごとがある時、身近に相談相手がなく、行政の相談窓口や救済制度などもわからないため不安がある。
- 7 各部落、職場、町において、さまざまな物事や行事の内容などを決める場に、女性、在住外国籍の人、障がいのある人などが参画できないのはおかしいと思う。
- 8 障がいのある人や高齢者などが外出する時、手すりやスロープなどの施設整備や交通機関の利用などについて不安がある。
- 9 在住外国籍の人たちに対する居住や労働条件、教育や個別文化の尊重、資格や参政権などについて、偏見や差別がある。
- 10 町を挙げて取り組んでいる、人権尊重の人と町づくりに期待しているが、人々の中にある偏見や差別意識に不安がある。

この質問は、私たちが暮らしの中で保障されるべき、身近で大切だと感じている人権課題について複数回答（3つ以内）で問うている。

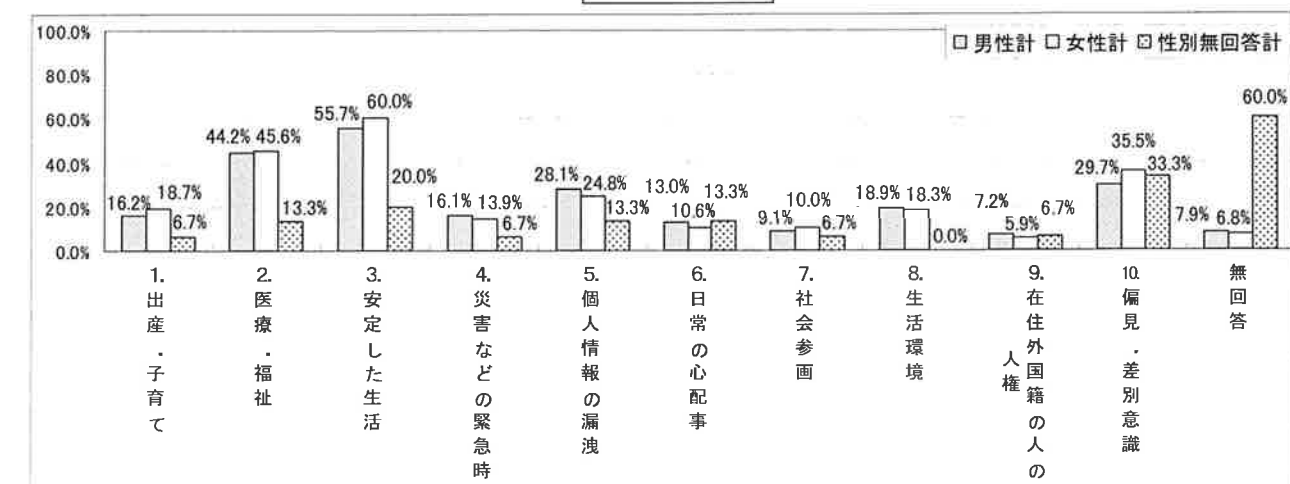
質問3		1. 出産・子育て		2. 医療・福祉		3. 安定した生活		4. 災害などの緊急時		5. 個人情報の漏洩		6. 日常の心配事		回答者数
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
20才代	男	30	31.9%	32	34.0%	64	68.1%	10	10.6%	32	34.0%	8	8.5%	94
	女	56	51.9%	56	51.9%	60	55.6%	11	10.2%	33	30.6%	5	4.6%	108
	計	86	42.6%	88	43.6%	124	61.4%	21	10.4%	65	32.2%	13	6.4%	202
30才代	男	32	28.6%	39	34.8%	60	53.6%	11	9.8%	31	27.7%	10	8.9%	112
	女	45	33.8%	46	34.6%	81	60.9%	12	9.0%	35	26.3%	8	6.0%	133
	計	77	31.4%	85	34.7%	141	57.6%	23	9.4%	66	26.9%	18	7.3%	245
40才代	男	18	15.5%	57	49.1%	60	51.7%	10	8.6%	42	36.2%	16	13.8%	116
	女	20	13.4%	71	47.7%	100	67.1%	17	11.4%	49	32.9%	18	12.1%	149
	無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
計	38	14.3%	128	48.1%	160	60.2%	27	10.2%	92	34.6%	34	12.8%	266	
50才代	男	8	6.4%	59	47.2%	77	61.6%	16	12.8%	40	32.0%	24	19.2%	125
	女	15	10.0%	64	42.7%	96	64.0%	18	12.0%	41	27.3%	15	10.0%	150
	計	23	8.4%	123	44.7%	173	62.9%	34	12.4%	81	29.5%	39	14.2%	275
60才代	男	10	7.9%	63	50.0%	66	52.4%	35	27.8%	27	21.4%	13	10.3%	126
	女	9	6.0%	78	52.0%	85	56.7%	30	20.0%	32	21.3%	23	15.3%	150
	計	19	6.9%	141	51.1%	151	54.7%	65	23.6%	59	21.4%	36	13.0%	276
70才以上	男	13	11.7%	52	46.8%	54	48.6%	28	25.2%	20	18.0%	18	16.2%	111
	女	7	5.7%	56	45.5%	66	53.7%	25	20.3%	12	9.8%	17	13.8%	123
	計	20	8.5%	108	46.2%	120	51.3%	53	22.6%	32	13.7%	35	15.0%	234
年代性別無回答		1	7.1%	2	14.3%	3	21.4%	1	7.1%	1	7.1%	2	14.3%	14
合計	男性計	111	16.2%	302	44.2%	381	55.7%	110	16.1%	192	28.1%	89	13.0%	684
	女性計	152	18.7%	371	45.6%	488	60.0%	113	13.9%	202	24.8%	86	10.6%	813
	性別無回答計	1	6.7%	2	13.3%	3	20.0%	1	6.7%	2	13.3%	2	13.3%	15
	合計	264	17.5%	675	44.6%	872	57.7%	224	14.8%	396	26.2%	177	11.7%	1,512

7. 社会参画		8. 生活環境		9. 在住外国籍の人の人権		10. 偏見・差別意識		無回答		回答者数
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
6	6.4%	17	18.1%	8	8.5%	17	18.1%	6	6.4%	94
5	4.6%	17	15.7%	7	6.5%	29	26.9%	2	1.9%	108
11	5.4%	34	16.8%	15	7.4%	46	22.8%	8	4.0%	202
17	15.2%	23	20.5%	14	12.5%	31	27.7%	8	7.1%	112
15	11.3%	22	16.5%	10	7.5%	40	30.1%	8	6.0%	133
32	13.1%	45	18.4%	24	9.8%	71	29.0%	16	6.5%	245
13	11.2%	19	16.4%	9	7.8%	40	34.5%	7	6.0%	116
16	10.7%	19	12.8%	9	6.0%	69	46.3%	5	3.4%	149
0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
29	10.9%	38	14.3%	19	7.1%	110	41.4%	12	4.5%	266
10	8.0%	24	19.2%	10	8.0%	45	36.0%	7	5.6%	125
19	12.7%	32	21.3%	16	10.7%	57	38.0%	10	6.7%	150
29	10.5%	56	20.4%	26	9.5%	102	37.1%	17	6.2%	275
11	8.7%	26	20.6%	4	3.2%	38	30.2%	11	8.7%	126
17	11.3%	22	14.7%	5	3.3%	63	42.0%	12	8.0%	150
28	10.1%	48	17.4%	9	3.3%	101	36.6%	23	8.3%	276
5	4.5%	20	18.0%	4	3.6%	32	28.8%	15	13.5%	111
9	7.3%	37	30.1%	1	0.8%	31	25.2%	18	14.6%	123
14	6.0%	57	24.4%	5	2.1%	63	26.9%	33	14.1%	234
1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	28.6%	9	64.3%	14
62	9.1%	129	18.9%	49	7.2%	203	29.7%	54	7.9%	684
81	10.0%	149	18.3%	48	5.9%	289	35.5%	55	6.8%	813
1	6.7%	0	0.0%	1	6.7%	5	33.3%	9	60.0%	15
144	9.5%	278	18.4%	98	6.5%	497	32.9%	118	7.8%	1,512

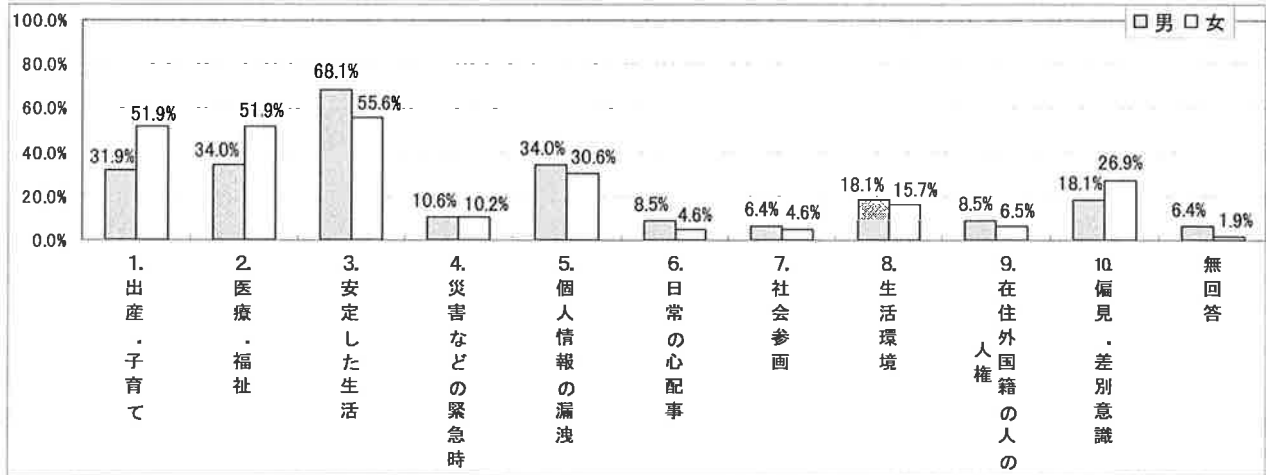
全体



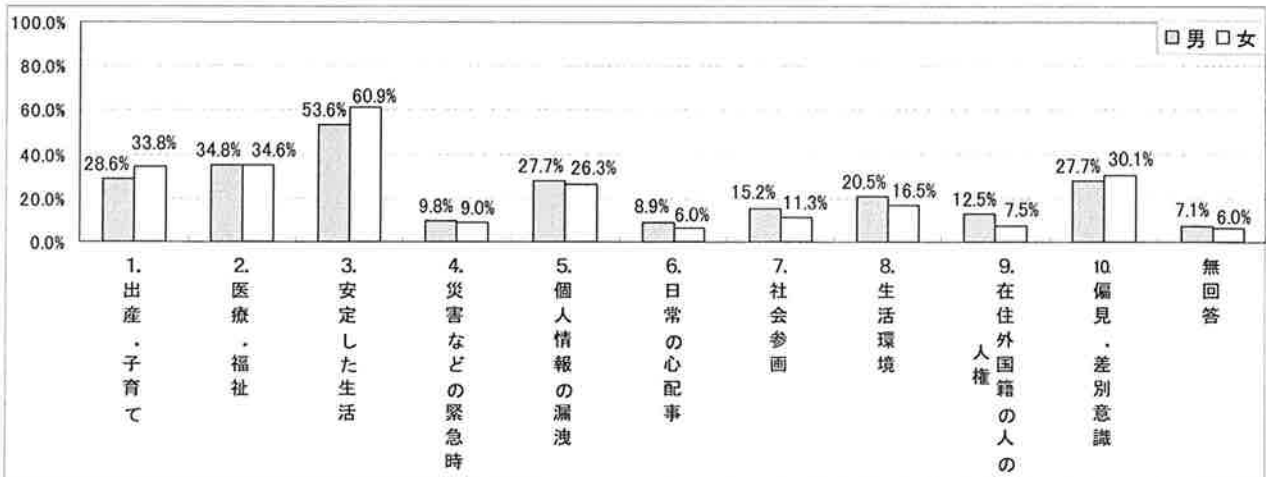
男女別全体



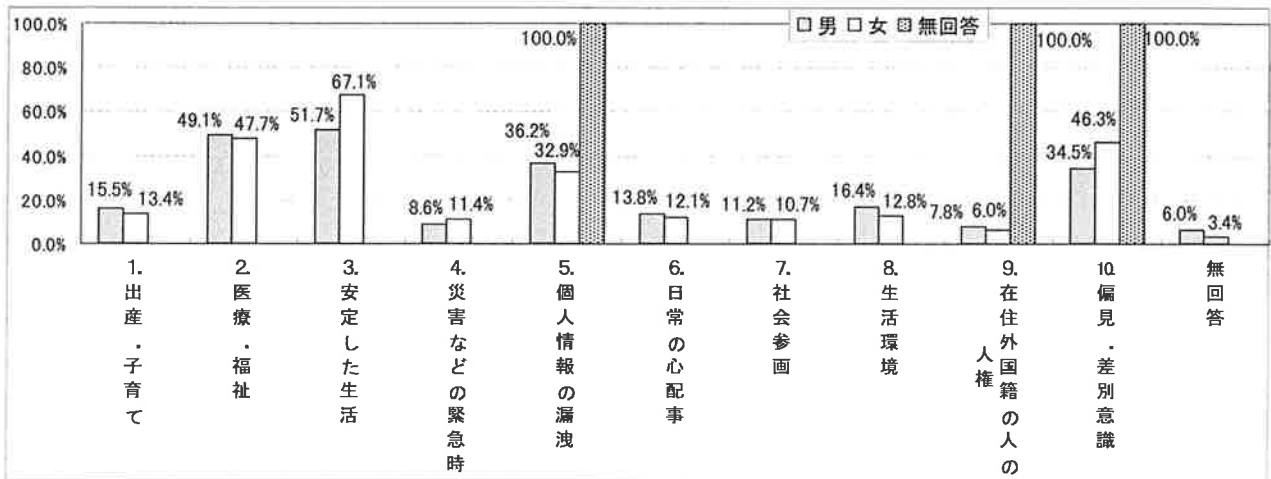
20才代



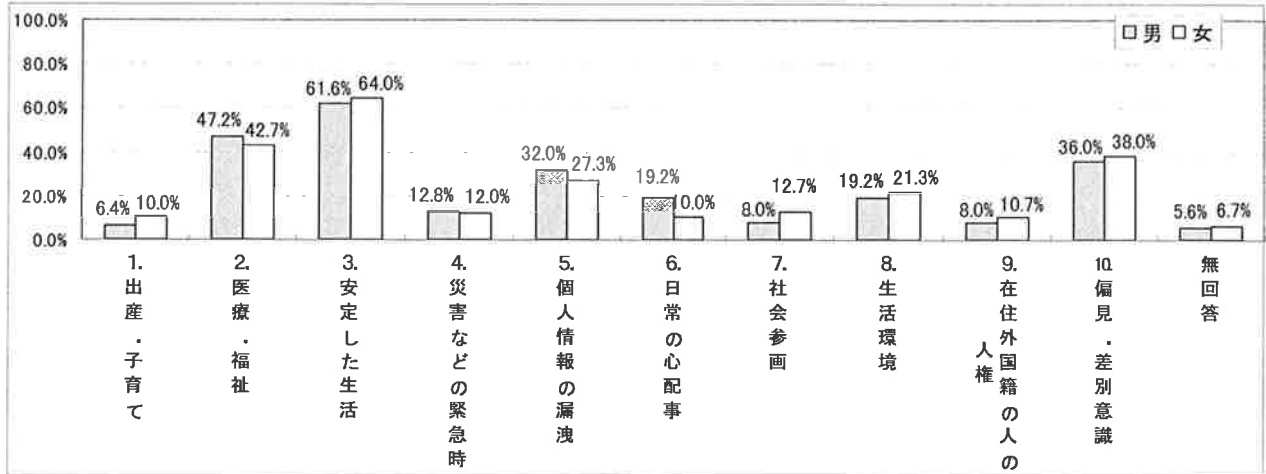
30才代



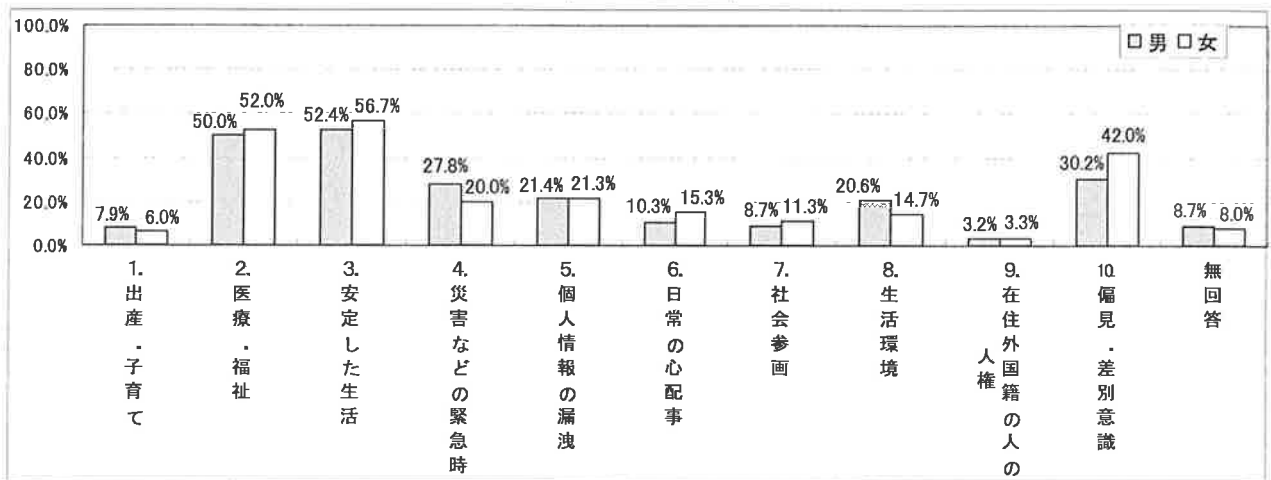
40才代



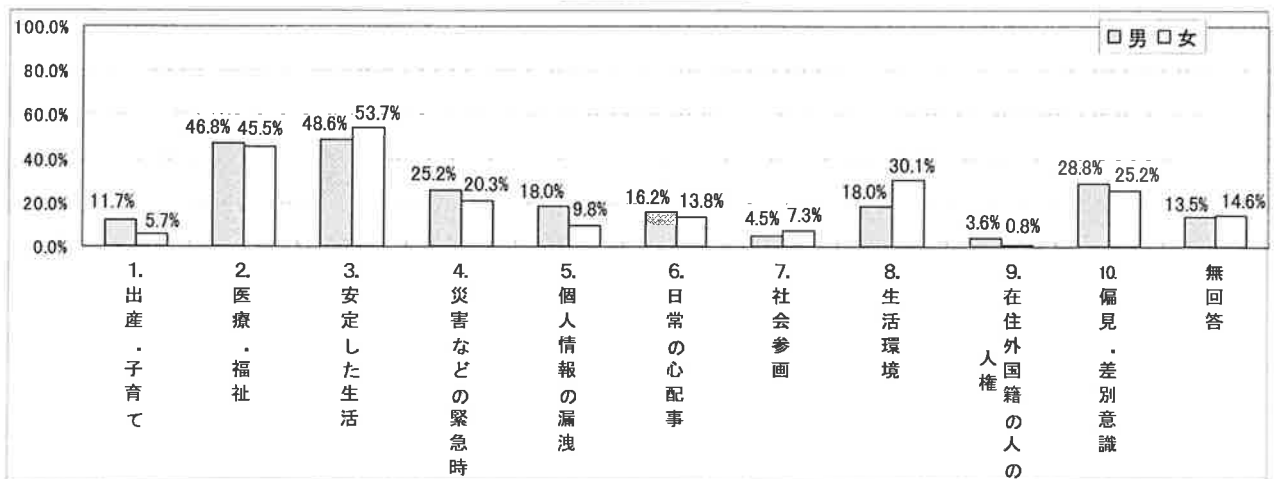
50才代



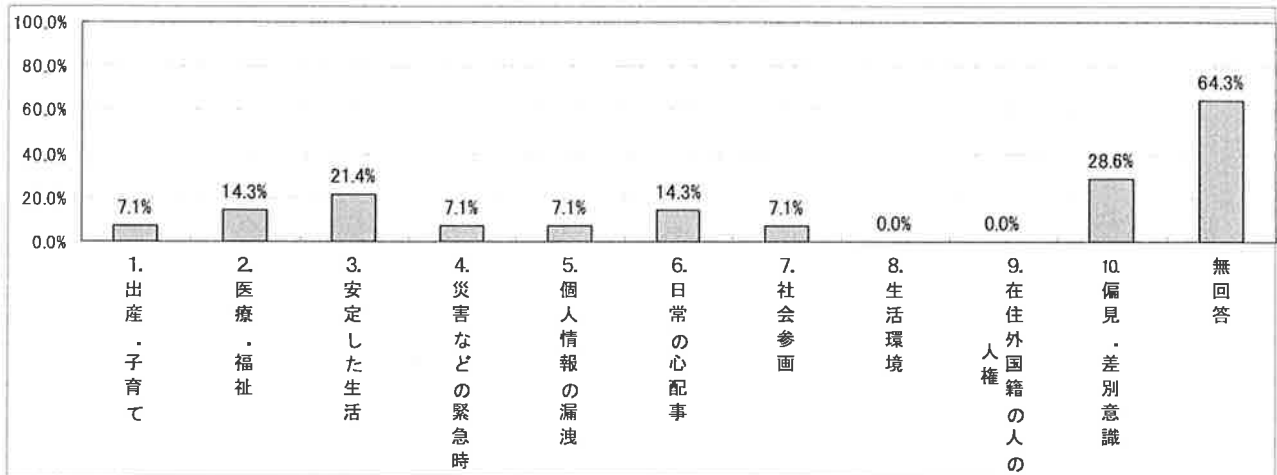
60才代



70才以上



年代性別無回答



<分析>

- 全体では、「安定した生活ができるか」が突出しており、「医療や福祉制度」が続いている。これは、仕事や年金、衣食住、医療、福祉など健康で文化的な生活の保障に対する不安と願いの表れと言える。一方、「在住外国籍の人の人権保障」は「無回答」の割合よりも低く、「安定した生活ができるか」とは約 51 ポイントの差がある。また、「女性、在住外国籍の人、障がいのある人などの社会参画」も低い。
- 年代別でみると、どの年代も「安定した生活ができるか」が最も高く、「医療や福祉制度」が続く。20 才代、30 才代は「出産・子育てへの不安」、40 才代以上は「偏見や差別意識への不安」が 3 番目に高い。また、20 才代～50 才代は、「個人情報情報の漏洩、プライバシーの侵害への不安」が高く、60 才代と 70 才以上は「災害など緊急時の不安」がその他の年代の約 2 倍になっている。
- 男女別では、大きな差はみられない。
- 年代男女別では、次のような傾向がみられる。
 - ・ 20 才代は男女でいくつか大きな差が見られる。「出産・子育てへの不安」は、女性が男性より 20 ポイント、「医療や福祉制度」も女性が男性より 17.9 ポイント高い。一方、「安定した生活ができるか」は、男性の 68.1%が女性より 12.5 ポイント高く、これは年代男女中最も高い。
 - ・ 30 才代は、男女とも「安定した生活ができるか」が最も高いが、女性の方が 7.3 ポイント高い。男女とも「医療や福祉制度」が 2 番目に高いが、どちらも 34%台で、20 才代男性に次いで低い。30 才代以上は、どの年代も「安定した生活ができるか」で、男性より女性の方が高い傾向にある。
 - ・ 40 才代男女は、ともに「安定した生活ができるか」が最も高い。特に女性の 67.1%は 20 才代男性に次いで高く、同年代男性を 15.4 ポイント上回る。また、「偏見や差別意識への不安」は、女性は年代男女中最も高い 46.3%で、男性より 11.8 ポイント高い。「個人情報情報の漏洩、プライバシーの侵害への不安」も他の年代より高く、特に男性の 36.2%は、年代男女中で最も高い。

- 50才代は男女であまり大きな差は見られないが、「医療や福祉制度」、「個人情報漏洩、プライバシーの侵害への不安」で、男性が女性より4.5ポイント程度高い。
- 60才代は男女であまり大きな差は見られないが、「偏見や差別意識への不安」は、女性が男性より11.8ポイント高い。
- 70才以上男女もあまり大きな差は見られないが、「施設整備や交通機関利用などの生活環境への不安」は、女性が男性より12.9ポイント高い。また、どちらも「無回答」が1割を超えている。

【質問3（身近に感じている人権課題）と、質問6-1（研修会等への参加回数）との関連】

[質問6-1の内容]

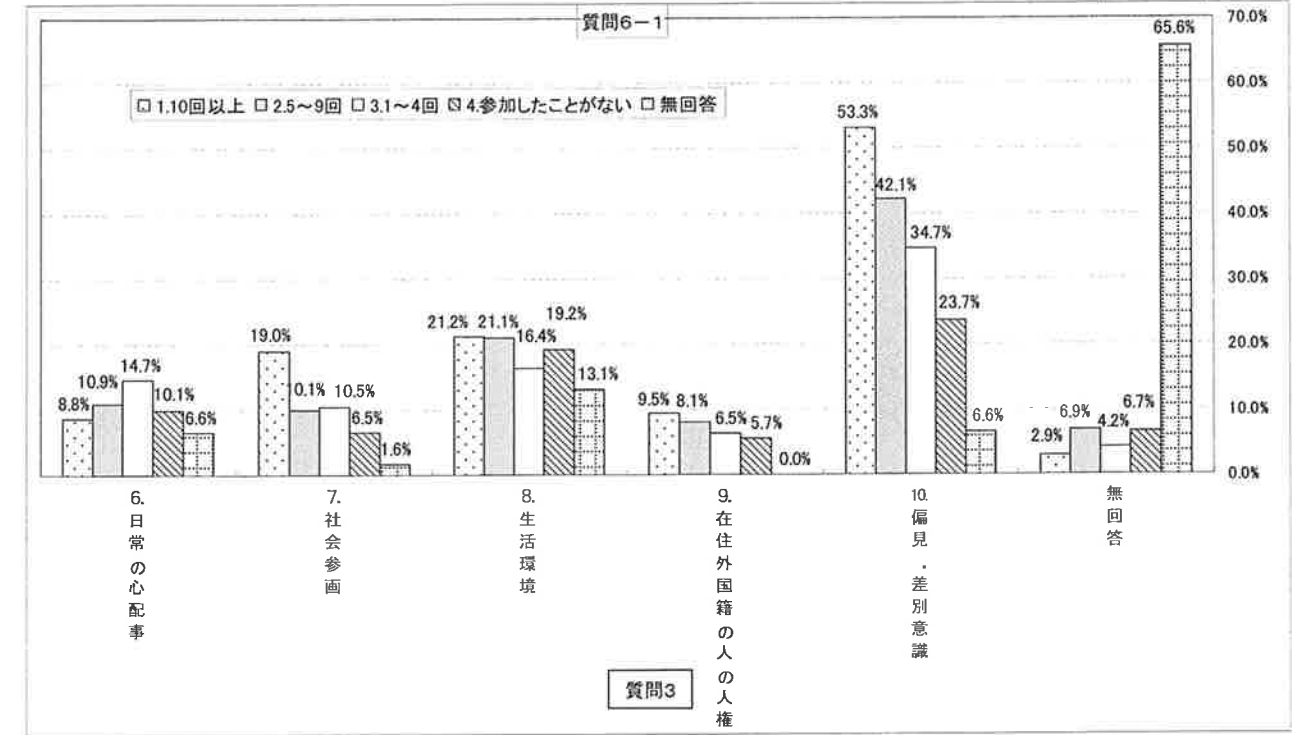
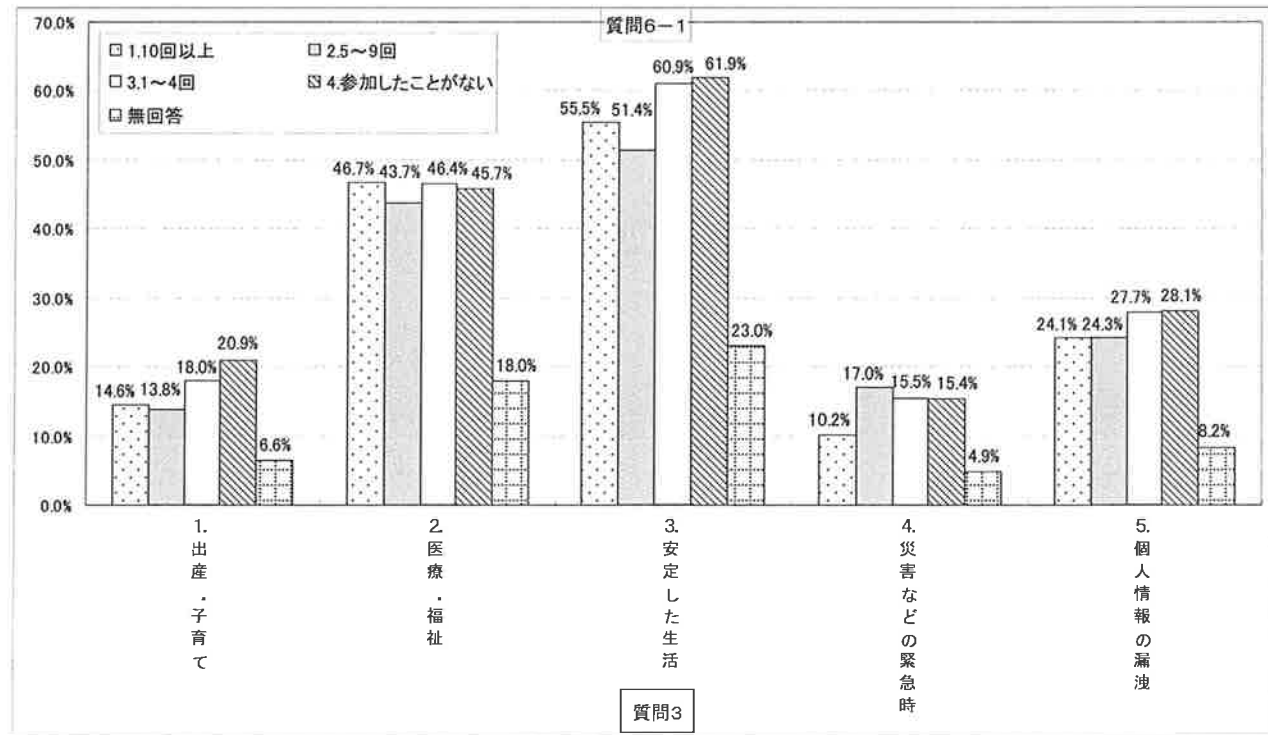
あなたは過去5年間に、人権・同和教育の講演会や研修会に参加されたことがありますか。

- 1. 10回以上参加した。
- 2. 5～9回参加した。
- 3. 1～4回参加した。
- 4. 参加したことがない。

このクロス集計では、身近に感じている人権課題について、研修会等への参加回数の違いによる意識や考え方の傾向をみた。

質問6-1	1 出産・子育て		2 医療・福祉		3 安定した生活		4 災害などの緊急時		5 個人情報の漏洩	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1. 10回以上	20	14.6%	64	46.7%	76	55.5%	14	10.2%	33	24.1%
2. 5～9回	34	13.8%	108	43.7%	127	51.4%	42	17.0%	60	24.3%
3. 1～4回	103	18.0%	266	46.4%	349	60.9%	89	15.5%	159	27.7%
4. 参加したことがない	103	20.9%	226	45.7%	306	61.9%	76	15.4%	139	28.1%
無回答	4	6.6%	11	18.0%	14	23.0%	3	4.9%	5	8.2%

6 日常の心配事		7 社会参画		8 生活環境		9 在住外国籍の人の人権		10 偏見・差別意識		無回答		回答者数
回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
12	8.8%	26	19.0%	29	21.2%	13	9.5%	73	53.3%	4	2.9%	137
27	10.9%	25	10.1%	52	21.1%	20	8.1%	104	42.1%	17	6.9%	247
84	14.7%	60	10.5%	94	16.4%	37	6.5%	199	34.7%	24	4.2%	573
50	10.1%	32	6.5%	95	19.2%	28	5.7%	117	23.7%	33	6.7%	494
4	6.6%	1	1.6%	8	13.1%	0	0.0%	4	6.6%	40	65.6%	61
											1,512	



<分析>

○ 研修会等での学習回数が増えるにしたがって認識される人権課題として「偏見や差別意識への不安」、「女性、在住外国籍の人、障がいのある人などの社会参画」を挙げることができる。特に、「偏見や差別意識への不安」は、研修会等に「参加したことがない」では23.7%だが、「10回以上」では53.3%と約30ポイント高くなっている。同じく「社会参画」では12.5ポイント高くなっている。他の人権課題についてはその割合が減少、又はほぼ同じ割合である。

【考察】

◎ 「安定した生活ができるか」や「医療や福祉制度」が突出しているのは、厳しい経済状況や少子高齢化など、現在の社会状況を反映していると思われる。